

■■メールマガジン「静岡県防災」第2号■■

令和3年度『南海トラフ地震に関する県民意識調査』について

1 概要

危機管理部では、県民の大規模地震に関する防災対策の実施状況等を把握するため県民意識調査を実施しており今回で21回目となります。（前回は令和元年度に実施。）

防災に関する「用語の認知」や「関心」のポイントは増加傾向ですが、「備蓄等」、実際の備えについては減少傾向となっています。

このところ九州や東北各地において震度5弱以上の強い揺れを観測する地震が相次いでいます。

備えあれば憂いなし。各家庭で創意工夫して備えを進めましょう！！

2 おもな調査結果

(1) 大規模地震に関する関心について 非常に関心がある。（回答数1,242件）

元年度 41.6% → 3年度 63.0% (+21.4%)

(2) 「南海トラフ臨時情報」が発表されることについて知っている。

(回答数1,242件)

元年度 15.6% → 3年度 26.4% (+10.8%)

(3) 家庭内防災対策について（回答数955件）

・家具類の固定状況（大部分固定＋一部分固定）

元年度 68.2% → 3年度 75.4% (+7.2%)

・ローリングストックの認知度

元年度 55.9% → 3年度 83.7% (+27.8%)

・食料備蓄状況（4日分以上）

元年度 41.0% → 3年度 31.4% (△9.6%)

・飲料水備蓄状況（4日分以上）

元年度 40.0% → 3年度 32.3% (△7.7%)

・携帯トイレ・簡易トイレの備蓄状況（4日分以上）

元年度 9.7% → 3年度 14.5% (+4.8%)

詳しくはこちら ⇒ <https://www.pref.shizuoka.jp/bousai/toukei/index.html>